

## 年頭のごあいさつ

黒潮町長 大西勝也



新年明けましておめでとうございます。住民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

わが国に未曾有の被害をもたらした東北地方太平洋沖地震からまもなく7年が経とうとしています。今もなお避難所生活を強いられている被災地の皆様のご労苦を思うとき、あらためて自然の脅威を感じるとともに地震津波対策に万全を期し、その日に備えなければならぬと決意を新たにするところです。

また、災害は地震津波のみならず、昨年は九州北部地域において豪雨災害が発生しました。線状降水帯の形成による豪雨は想像をはるかに上回り、自然災害への備え

の難しさを目の当たりにしました。本年からはこれまでの地震津波対策に加え、この豪雨による土砂災害対策への取組を強化していくこととしています。

そういつたなか、これまで官民共同で進めてまいりました防災の取組が評価され「濱口梧稜国際賞」を受賞いたしました。国内外から高く評価をいただいた背景には、34メートルという衝撃的な想定にもひるむことなくしっかりと向き合い、防災の取組を進めてきてい

## 思いやりあふれるまちに

ただいた地域の皆様の活動があります。引き続き住民の皆様とともに防災の取組を進めながら行政組織といたしましてもあらためて緊張感を持ち、災害対応に勤めてまいります。

また、黒潮町地域福祉計画も第2期に入りました。これまで多くの住民の皆様のご協力のもと、「黒潮町の新たな福祉ネットワーク構想」実現に向け取組を進めてまいりました。現在、その核となるあったかふれあいセンターは4施設

とそのサテライトが稼動しており、多くの住民の皆様にご利用をいただいています。今後は集落活動センターなどと連携を密にし、医療や介護との接続をはじめ、地域にとつてより必要とされる拠点となるよう高度運用を進めていくことで黒潮町の目指す「誰もが住みなれた地域で、健康で笑顔で暮らし続けられる町づくり」を実現してまいります。

本町が抱える課題は教育から福祉、産業にいたるまで簡単に解決

できるものではありませんが、先人への感謝と将来世代への責任を忘れず、住民の皆様とともに一歩一歩歩みを進めてまいりたいと思います。

住民の皆様におかれましては寒さ厳しい折、くれぐれもご自愛いただき町政発展のためより一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

今年一年が皆様にとりまして平穏で幸せな年となりますよう祈念し新年のご挨拶いたします。